



<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	当日の予定を掲示し、子ども達が見通しを持って主体的に過ごせるよう支援する。長期休業などを利用して、当番活動や異年齢との充実した生活を送る上で子ども自らが学び合える環境づくりを行う。
2	配慮を要する子どもへの対応	アレルギーを持っている児童に対しては個別に安全に食べられるものを準備し対応している。職員間の情報の共有を行い、全職員が対応できるようにする。学校と密に連携をとる中で子供たちの様子を共有する。また、必要であれば関係機関との連携をとる。
3	運営体制	運営指針を踏まえて、地域のニーズに把握し児童の健全育成を図る。職員に対して、資質の向上の為研修の機会を確保し自己研鑽に励む環境を作る。地域社会との交流及び連携を図り、地域社会に対し事業運営の内容を適切に伝える。
4	学校及び地域・保護者との連携	近隣こども園や学校との連携を密にし、情報の共有を行う。保護者と子どもへの理解を深め、地域に根ざしたクラブとなるよう努めていく。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	今後も定期的に設備の点検を行い、安全管理に対して全職員が取り組んでいく。感染症の予防の為、消毒・換気などを頻繁に行い施設内の衛生管理に努める。
	訓練実施回数	11回
6	質の向上	全職員が研鑽に努め、研修会などへの積極的に参加するとともに、支援員の資格取得を促す。クラブ内研修をこまめに行い、利用児童たちや保護者にとって安心できる場とし、信頼できる支援員となるよう努める。
	1人当り研修参加回数	4. 3回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	状況を見ながら市の施設内をできる限り利用し子どもの体験活動に活用する。感染防止に努めながら、地域に向けての行事やイベントを子どもたちと一緒に企画し地域交流を図っていく。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	2回